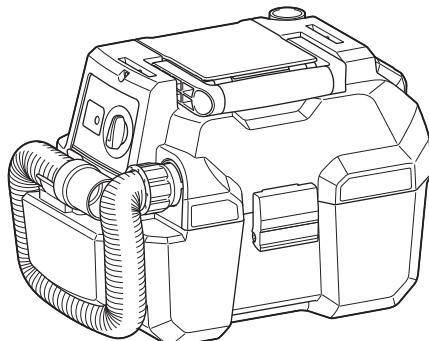


Makita

取扱説明書

充電式集じん機

モデル VC750D
(乾湿両用)



このたびは充電式集じん機をお買い上げ
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いください
ようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・主要機能	3
・安全上のご注意	4
・充電式集じん機の使用上のご注意	12
・各部の名称	14
・標準付属品	15
・別販売品のご紹介	16
・バッテリについて	18
・充電器について	21
・使い方	30
・伸縮ホース・ノズルの取り付け方	30
・電動工具との接続	32
・ショルダーベルトの取り付け方	33
・スイッチの操作	34
・集じん作業	34
・プロワ作業	35
・吸水作業	36
・バッテリ残容量表示機能	36
・ゴミの捨て方	37
・フィルタの取り付け方	38
・フィルタの取りはずし方	38
・運搬・収納	39
・取っ手の使用方法	39
・ノズルの収納方法	39
・伸縮ホースの収納方法	39
・保護機能	40
・故障かな？と思ったら	41
・保守・点検について	42
・フィルタのお手入れ	42
・本機のお手入れ	43
・保管場所について	43
・ご修理の際は	43

主要機能

モデル 主要機能	VC750D
電動機	DC ブラシレスモータ
バッテリ	リチウムイオンバッテリ BL1860B (容量 6.0 Ah)
電圧	直流 18 V
最大風量	強 : 1.6 m ³ /min 標準 : 1.3 m ³ /min
最大真空度	強 : 6.7 kPa 標準 : 4.2 kPa
最大吸込仕事率	強 : 50 W 標準 : 25 W
連続作業時間	強 : 約 36 分 標準 : 約 72 分
集じん容量	7.5 L
吸水量 * ¹	4.5 L
本機寸法	長さ 418 mm × 幅 251 mm × 高さ 278 mm
質量	4.1 kg (BL1860B 裝着時)

モデル 主要機能	DC18RF	
入力電圧	単相交流 100 V	
入力周波数	50/60 Hz	
入力容量	330 W	
バッテリ 充電端子	出力電圧 出力電流	直流 14.4-18 V 直流 12 A
USB 電源端子	出力電圧 出力電流 端子形状	直流 5.0 V 直流 2.1 A USB A 型

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

*¹ 吸水量は使用条件により異なる場合があります。

バッテリアダプタ類について

- 本製品はバッテリアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

安全上のご注意

JPA002-59

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）電動工具を示します。

注意文の **△警告**・**△注意**・**注** の意味について

ご使用上の注意事項は **△警告** と **△注意**・**注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告

:誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意

:誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお **△注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

:製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリを本機に挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかりと固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ピットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ 本機の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、銳利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを挿し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを挿し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本機または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出した液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなつたバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- ・輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- ・電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています（右図の○部分）。



16. 使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。

- ・使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。

17. バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。

- ・性能が低下したり、故障の原因になります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・本機、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- ・本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- ・本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 本機やバッテリが異常に熱い。
 - ・ 本機やバッテリに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ピリピリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
- #### 2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- #### 3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
- #### 4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- ・ 爆発や火災の恐れがあります。
- #### 5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・ 編ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
- #### 6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- #### 7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- #### 8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

9. 正しく充電してください。

- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに**発電機**の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が10℃未満、または周囲温度が40℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。バッテリや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷するところがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- 誤動作や故障する恐れがあります。

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式集じん機の使用上のご注意

JPB273-1

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
3. 可燃物が大量に舞っている場所で使用しないでください。
 - 火災の原因となります。
4. 以下のものは吸わせないでください。

引火性物質

- 油類（灯油・ガソリンなど）
- 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- トナーなどの可燃物
- 塗料
- 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- 可燃性ガス（スプレーなど）
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ニトログリセリンなど

発火性物質

- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量的粉末（小麦粉、消火器の粉など）

中毒症状を起こす物質

薬品類

5. 排気口をふさがないでください。
 - モータが焼損し、火災の原因になります。
6. 本機を倒したり、横倒したりした状態で使用しないでください。
 - 感電や故障の原因になります。

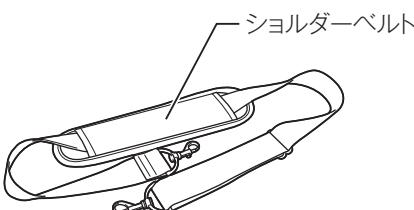
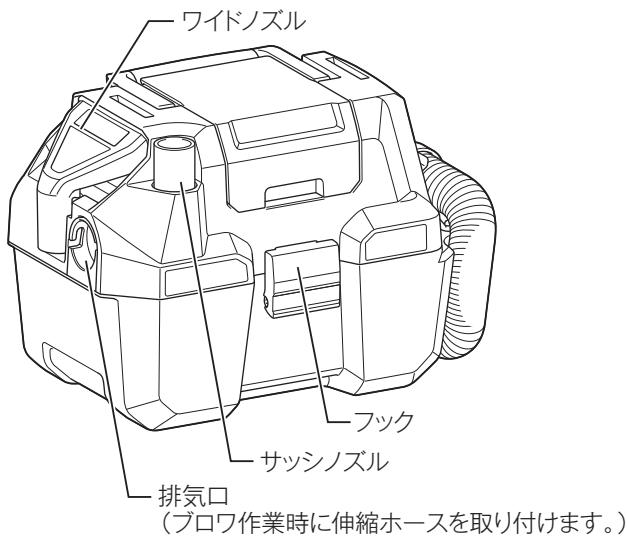
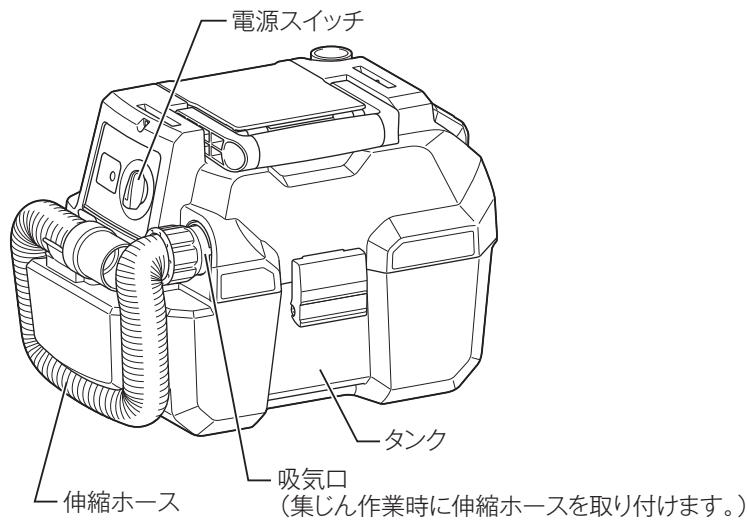
⚠ 警告

7. 転倒などによる本機の変形、破損防止のため、本機は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本機の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本機の変形の原因になります。
3. 本機上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 転倒するなどのけがの原因になります。
4. 本機上面を作業台として使わないでください。
 - ・ 本機に載せたものが落ちて、破損する恐れがあります。
5. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モータ焼損など、故障の原因になります。
6. フロートが作動したまま運転しないでください。
例：作業者がいない状態でポンプとして使用する。
 - ・ モータの温度が上昇し、部品の変形やモータ焼損など、故障の原因になります。

各部の名称



標準付属品

標準付属品	モデル	VC750DZ	VC750DRG
バッテリ		×	BL1860B (容量 6.0Ah)
充電器 (充電時間)		×	DC18RF (実用充電 ^{*1} : 約 27 分) (フル充電 ^{*2} : 約 40 分)
バッテリカバー		×	○
伸縮ホース (0.4 ~ 2.0 m)		○	○
ワイドノズル		○	○
サッシノズル		○	○
ショルダーベルト		○	○

^{*1} 実用充電：フル充電完了の約 80% の充電が完了した状態。

^{*2} フル充電：バッテリの容量いっぱいまで充電された状態。

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくな、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリ BL1815N（容量 1.5 Ah）
部品番号：A-60311
- ・ バッテリ BL1820B（容量 2.0 Ah）
部品番号：A-61715
- ・ バッテリ BL1830B（容量 3.0 Ah）
部品番号：A-60442
- ・ バッテリ BL1850B（容量 5.0 Ah）
部品番号：A-59900
- ・ バッテリ BL1860B（容量 6.0 Ah）
部品番号：A-60464
- ・ フィルタ（乾湿両用）（購入時、本機に標準付属）
部品番号：A-68214
- ・ 切替ノズル（集じん機用）
部品番号：A-61329
- ・ ノズルアッセンブリ（乾湿両用）
部品番号：122512-4
- ・ コーナーノズル
部品番号：410306-2
- ・ ストレートパイプ
部品番号：192563-1
- ・ ベンディングパイプ
部品番号：197247-6

別販売品のご紹介

- ・ ノズルアッセンブリ A (乾式用)
部品番号：122334-2
- ・ ノズルアッセンブリ B (湿式用)
部品番号：122335-0
- ・ ラウンドブラシ
部品番号：191657-9
- ・ アンカーノズル
(ホースジョイント 22-38 を併用してください。)
部品番号：192236-6
- ・ ホースジョイント 22-38
(電動工具との接続用)
部品番号：418165-8
- ・ ジョイント H
(HiKOKI 製電動工具との接続用)
部品番号：424009-2
- ・ ジョイント 38
(充電式クリーナのノズル類との接続用)
部品番号：418500-0
- ・ 水用フィルタ
部品番号：191E72-7

バッテリについて

バッテリについて

- お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、バッテリ保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- 使用しないときは本機からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度 10 °C ~ 40 °C の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

- 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

バッテリについて

バッテリの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

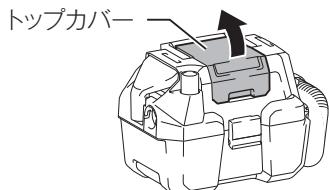
- ・スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタンの赤色表示が見えている場合は完全に固定されていません。赤色表示が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

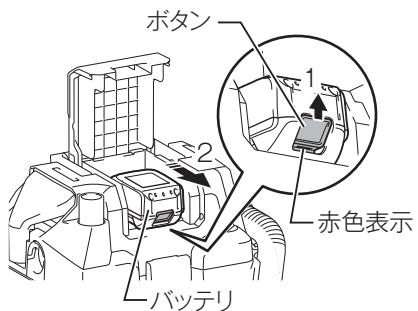
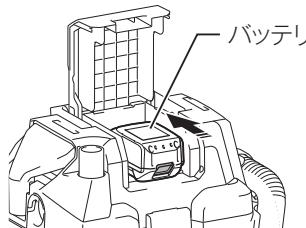
取り付け方

1. トップカバーを真上まで開きます。
2. バッテリを本機の溝に沿わせて、カチッと音がするまで差し込みます。



取りはずし方

1. トップカバーを真上まで開きます。
2. ボタンを押し上げながら、バッテリを手前に引き出します。



注

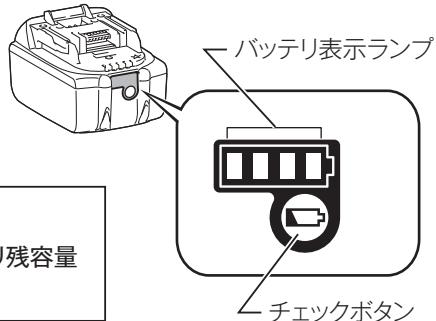
- ・バッテリの取り付け・取りはずしの後はトップカバーを閉じてください。
- ・トップカバーの開閉時やバッテリの挿入時に、指をはさまないように注意してください。

バッテリについて

バッテリ残容量表示機能

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリは、残容量表示機能が付いています。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



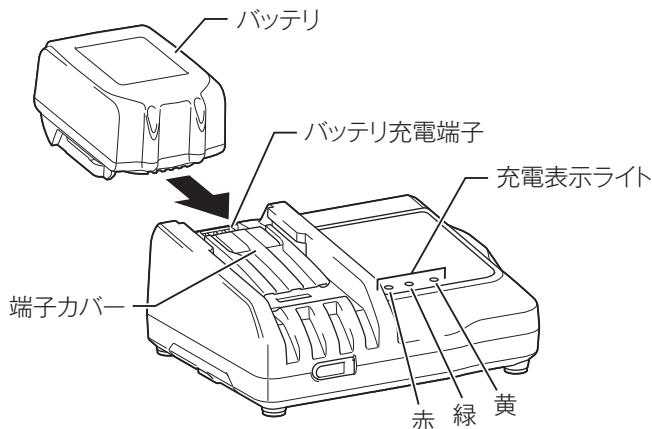
バッテリ表示ランプ	バッテリ残容量
■:点灯 □:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
□ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ □ ■	バッテリの異常です。 ↓ ↑

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

充電器について

バッテリの充電方法

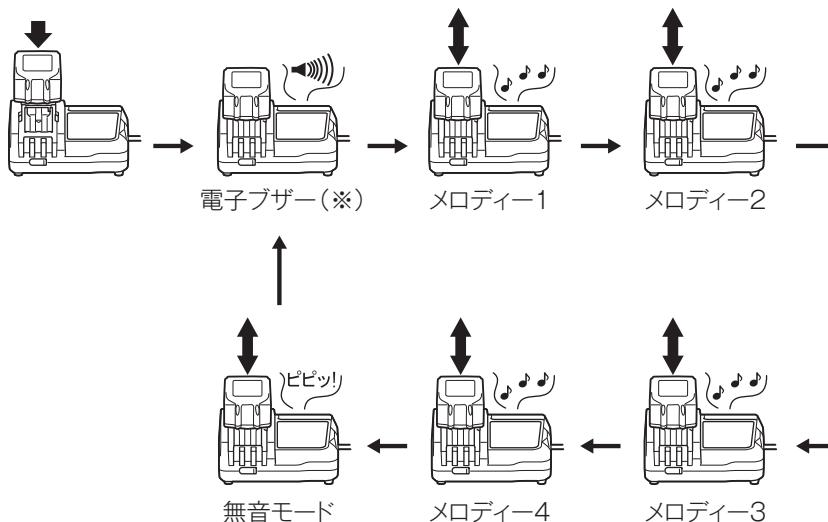


1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込みます。
 - ・ 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
 - ・ 充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
4. 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。
 - ・ 充電時間は周囲温度（10 °C～40 °C）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
 - ・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。
5. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電器について

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。
2. このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器について

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。

(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示	点滅 点灯	表示内容
		充電前 「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
		冷却中 「赤 1 個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
		充電中 「赤 1 個」点灯 バッテリ容量約0~80 %を示します。
		実用充電完了 「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリ容量約80~100 %を示します。
		フル充電完了 「緑 1 個」点灯 電子ブザーまたはメロディー

(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)

			オートメンテナンス 「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
--	--	--	--

(異常時のライト表示および表示内容)

			充電不可 「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
			冷却システム異常 「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

充電器について

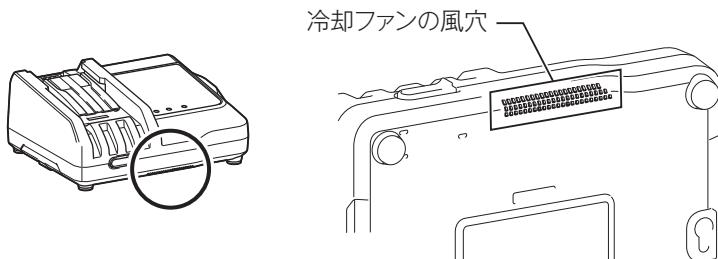
注

- DC18RF はマキタバッテリ専用の急速充電器です。ほかの目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されると充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
- バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

冷却システムについて

- ・ バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電器の前面下部にある「冷却ファンの風穴」がゴミでふさがれていなか定期的に確認、清掃をしてください。



- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していないなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することができます。
- ・ 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1 ~ 4 の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し
(過放電とは工具の力が弱くなてもさらに使用する状態です)

充電器について

USB 電源端子への接続

⚠ 警告

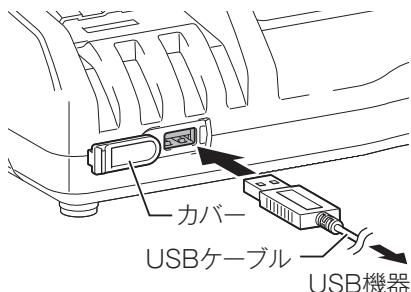
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC18RF は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
 - USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
 - 2.1 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。USB 電源端子の最大出力電流は、2.1 A です。
 - 充電器との接続には、USB 機器付属の USB ケーブルをご使用ください。
 - 使用後は充電器正面のカバーを戻してください。カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障につながります。
- 本体正面のカバーをはずして、USB ケーブルで USB 機器と充電器を接続してください。
 - 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
 - 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
 - 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

壁に取り付けて使用する場合

⚠ 注意

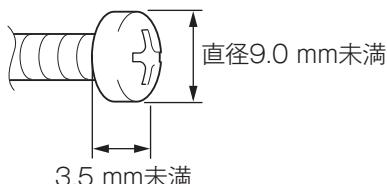
- ・ 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ2本で確実に吊下げてください。
- ・ 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 取り付け作業を行うときは、バッテリを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- ・ 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ・ ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- ・ 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- ・ 充電器本体、バッテリの総重量は、約1.6kgになります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

- ・ 木ネジ（吊下げ用）4mm×20mm以上：2本
※ネジ頭は下図の寸法としてください。

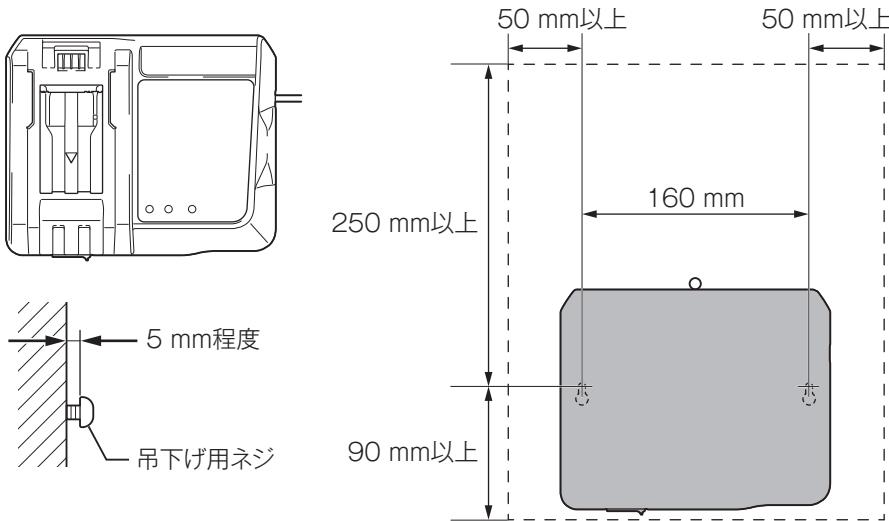


- ・ 木ネジ（固定用ネジ1）4mm×25mm以上：1本
- ・ 工具（ネジ締め用）

充電器について

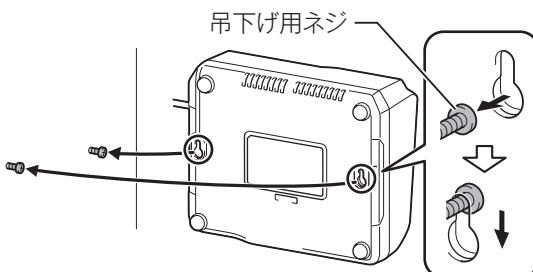
2. 吊下げ用ネジの取り付け

周りに充電器の取り付け作業や、バッテリの充電作業の障害になる出っ張りなどがない、強度のある壁面に取り付けてください。



3. 充電器の取り付け

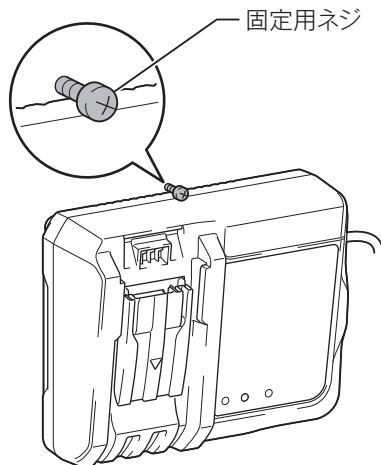
手順2で取り付けた吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



充電器について

4. 充電器の固定

固定用ネジを図のように締め込んでください。



充電器の点検・修理・保管について

- いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 振発性物質の置いてある所

使い方

伸縮ホース・ノズルの取り付け方

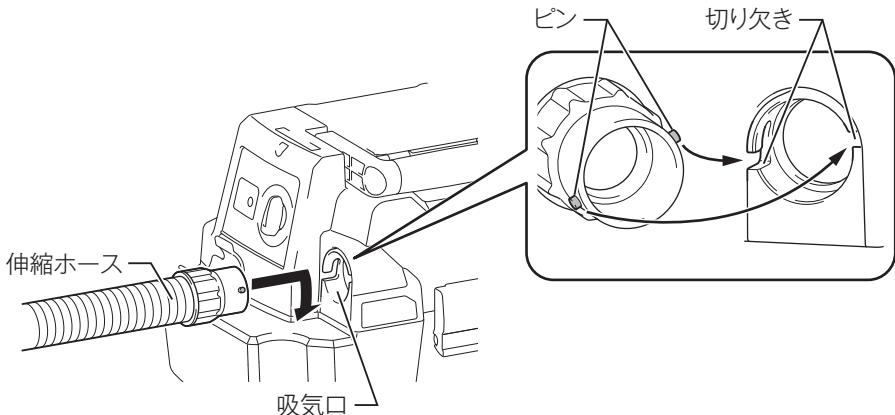
△ 注意

- 伸縮ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、伸縮ホースを引っ張って本機を移動させたりしないでください。
 - 伸縮ホースの変形や破損などの原因になります。
- ノズル類は使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。

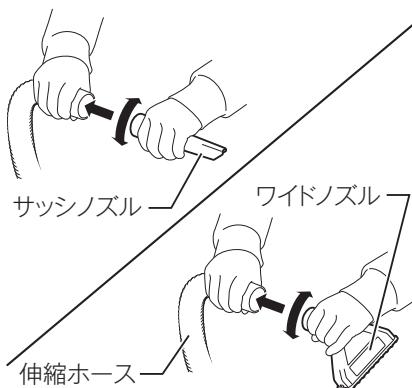
伸縮ホースは用途によって取り付け位置が異なるため、ご注意ください。

集じん作業時

- 伸縮ホース外側のピン（2か所）を吸気口の切り欠きに合わせて、伸縮ホースを差し込みます。
- 伸縮ホースを右方向にカチッと止まるまで回します。



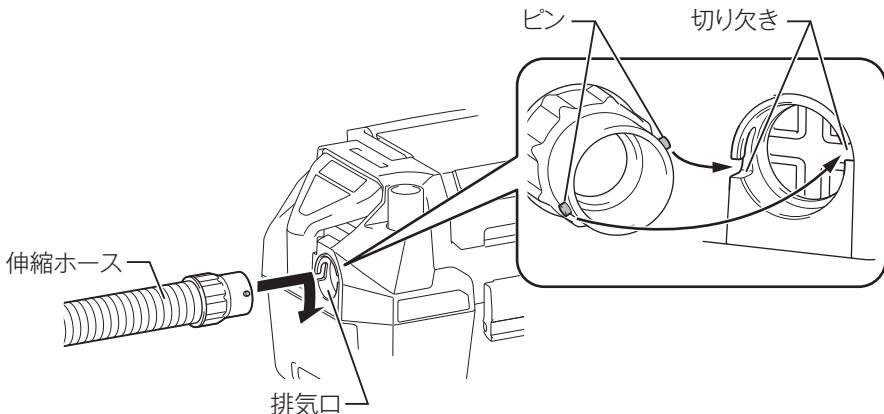
- ご使用になるノズルを伸縮ホース先端にねじ込みます。
ノズルを引っ張って、抜けないことを確認してください。



使い方

プロワ作業時

1. 伸縮ホース外側のピン(2か所)を排気口の切り欠きに合わせて、伸縮ホースを差し込みます。
2. 伸縮ホースを右方向にカチッと止まるまで回します。



使い方

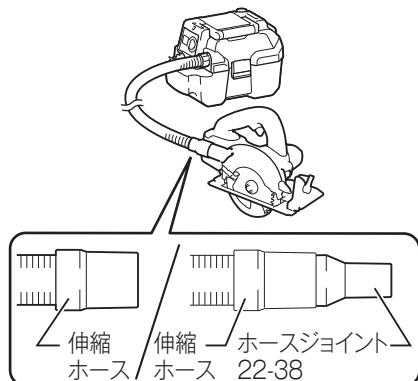
電動工具との接続

⚠ 警告

本機を電動工具に接続する際は、本機のスイッチを切り、バッテリを抜いてください。また、電動工具もスイッチを切り、バッテリを抜くか、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 工具が急に動きだし、事故の原因になります。

1. 伸縮ホースを本機の吸気口に取り付けます（30 ページ参照）。
2. 伸縮ホース先端に電動工具の粉じん排出口を接続します。
 - ・ 電動工具の粉じん排出口の大きさに合わせて、必要であればホースジョイント 22-38（別販売品）を伸縮ホース先端に取り付けてご使用ください。
(詳細はカタログ参照)



注

- ・ 伸縮ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、伸縮ホースを引っ張って本機を移動させたりしないでください。
 - ・ 伸縮ホースの変形や破損などの原因になります。

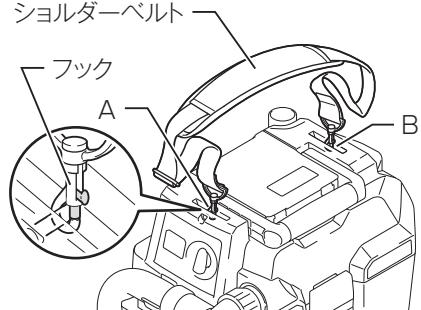
使い方

ショルダーベルトの取り付け方

⚠ 警告

高所での作業にはショルダーベルトを使用しないでください。
本機を置いて使う場合は、平らな安定した場所に置いてご使用ください。

- ・ ショルダーベルトのフックをそれぞれ A、B に取り付けます。
- ・ ショルダーベルトは作業しやすい長さに調整してご使用ください。



注

- ・ 付属のショルダーベルト以外は使用しないでください。

使い方

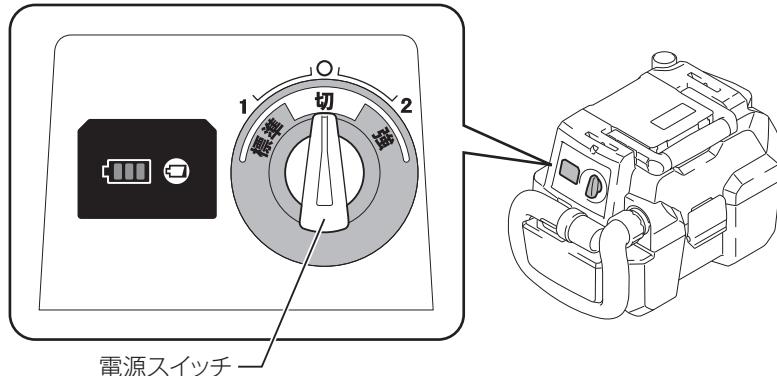
スイッチの操作

⚠ 警告

バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

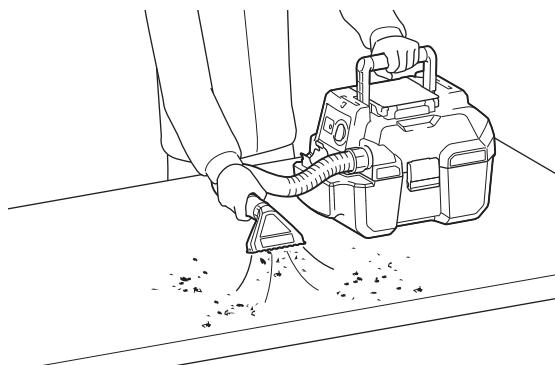
- ・スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

- ・スイッチは、電源スイッチを「標準」か「強」にすると入り、「切」にすると切れます。
- ・吸引力は「標準」と「強」の2モードあります。作業にあわせて選択してください。



集じん作業

1. ノズル・伸縮ホースを取り付けます（30ページ参照）。
2. 電源スイッチを入れて運転します。
3. 粉じんを吸い取ります。
4. 電源スイッチを切り、停止します。



使い方

ブロワ作業

⚠ 警告

泥水などを吹き飛ばさないでください。

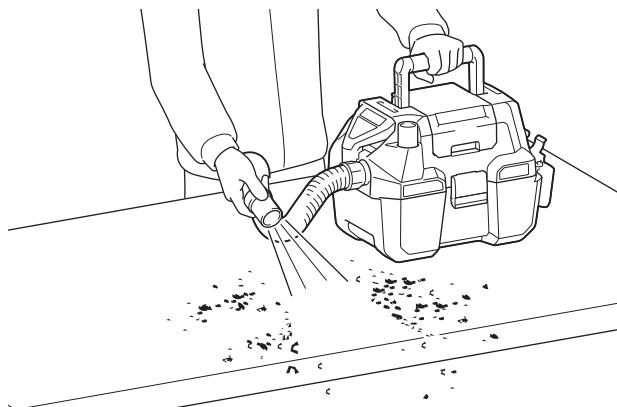
- ・ 吹き飛ばされたものが目に入り、けがの原因になります。

風下からブロワ作業をしないでください。

- ・ 吹き飛ばされたものが目に入り、けがの原因になります。

ブロワ作業時は常に保護メガネや防じんマスクを使用してください。

1. 伸縮ホースを本機の排気口に取り付けます（30 ページ参照）。
2. 電源スイッチを入れて運転します（34 ページ参照）。
3. 粉じんを吹き飛ばします。
4. 電源スイッチを切り、停止します（34 ページ参照）。



- ・ 伸縮ホース先端にサッソノズルをつけて使用すると、狭い隙間の掃除がしやすくなります。

使い方

吸水作業

⚠ 警告

フロートが働いたままで、長時間運転しないでください。

- 過熱により本機の変形の原因になります。

泡や石けん水などは吸い込まないでください。

- フロートが働く前に空気の出口から泡が吹き出します。このまま使用すると感電や故障の原因になります。

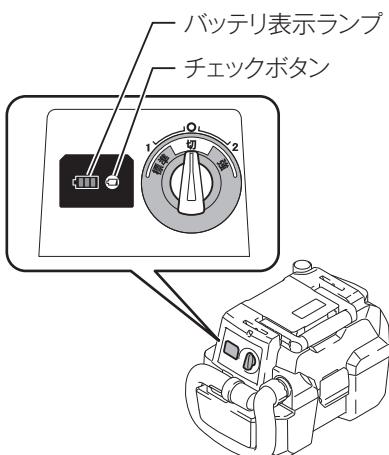
- 本機には一定量以上の水を吸い込んだ場合にモータ内に水が侵入するのを防ぐフロート機構が付いています。
- タンク内に水が一杯になり、水を吸い込まない場合は速やかにスイッチを切り、水を捨ててください。

注

- 連続の吸水作業では、フィルタへの水分の付着により、吸引力が弱くなる可能性があります。その場合はフィルタを乾かしてからご使用ください。繰り返し吸水する場合は、水用フィルタ（別販売品）をお勧めします。
- 濡れたままのフィルタで粉じんを吸い込まないでください。
 - 粉じんがフィルタにこびりつくことがあります。

バッテリ残容量表示機能

- チェックボタンを押している間はバッテリ表示ランプがバッテリ残容量を表示します。



バッテリ表示ランプ	バッテリ残容量
■:点灯 □:消灯 ▨:点滅	
	50 % - 100 %
	20 % - 50 %
	0 % - 20 %

使い方

ゴミの捨て方

⚠ 警告

ゴミを捨てる際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

- ・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

ゴミを捨てる際には、保護メガネや防じんマスクを使用してください。

⚠ 注意

タンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

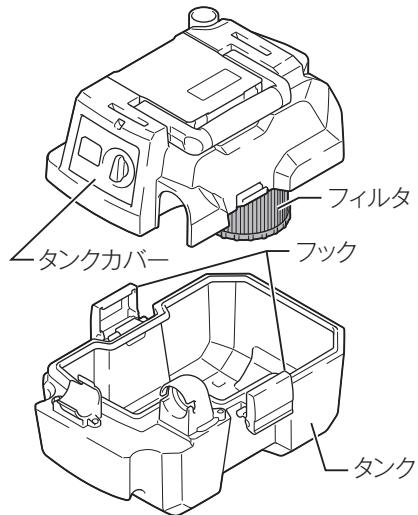
集じん量にもよりますが、タンク内のゴミは毎日1回以上捨ててください。

- ・ 吸引力の低下やモータの故障の原因になります。

タンク内のゴミを捨てるときは、フックを持たないでください。

- ・ フックが破損する原因になります。

- ・ フックをはずしてタンクカバーをタンクから取りはずします。
- ・ フィルタに付着したゴミをタンクに落とし、タンクに溜まったゴミを捨ててください。



使い方

⚠ 警告

フィルタの取り付け・取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

- ・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

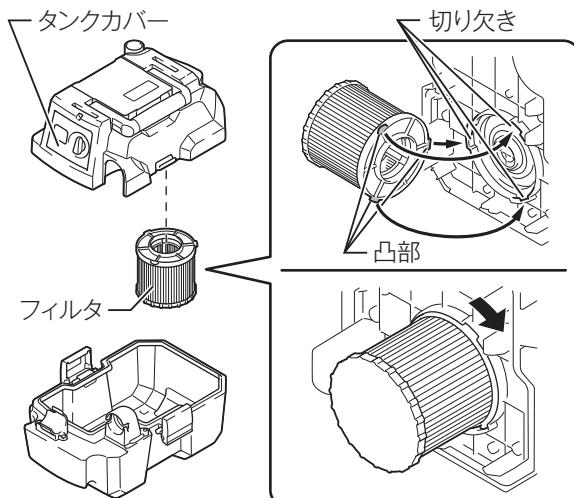
フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。

また、フィルタは乾湿両用です。吸水時にも取りはずさないでください。

- ・ モータ焼損など、故障の原因になります。

フィルタの取り付け方

1. フィルタ外側の凸部（3か所）をタンクカバーの切り欠きに合わせて、フィルタを差し込みます。
2. フィルタを右方向に止まるまで回して固定します。



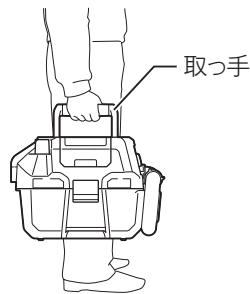
フィルタの取りはずし方

- ・ フィルタを左方向に回し、タンクカバーから引き抜きます。

運搬・収納

取っ手の使用方法

- 取っ手を持って運搬できます。
- 取っ手を使用しないときは、取っ手を倒して収納できます。

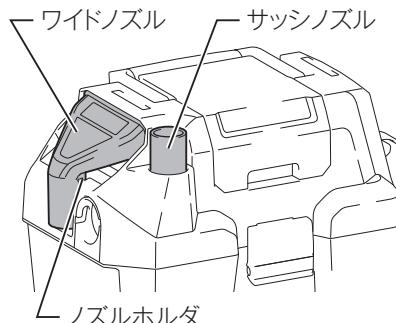


注

- 運搬時にはタンク内の水は捨ててください。
 - 水が漏れる可能性があります。

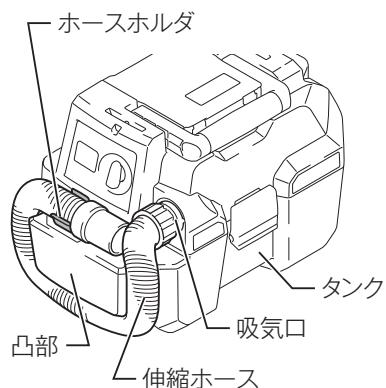
ノズルの収納方法

- ワイドノズルはノズルホルダにはめて固定できます。
- サッシンノズルは本機に差して収納できます。



伸縮ホースの収納方法

- 伸縮ホースを吸気口に取り付けます。
- 伸縮ホースをタンクの凸部に巻きつけ、伸縮ホースの先端をホースホルダにはめて固定します。



保護機能

本機およびバッテリの保護機能

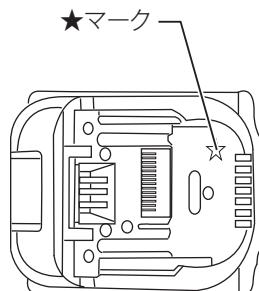
本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能

- ・ 本機およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。
 - ・ 使用を中断して本機よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
 - ・ バッテリを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。
- ・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。
 - ・ 本機よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
 - ・ いったんスイッチを切り、本機よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

★マークについて

図のようにバッテリに★マークがある
バッテリは保護機能を搭載しています。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本機が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本機またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本機を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 40 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

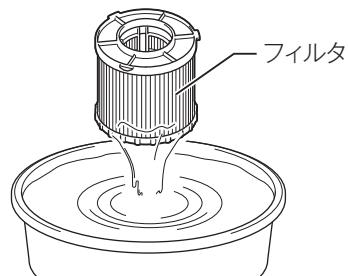
- ・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

ぬれた手で作業しないでください。

- ・ 感電やけがの原因になります。

フィルタのお手入れ

- ・ フィルタの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、フィルタに付着した粉じんはこまめに取り除いてください。
- ・ ちり落としの方法は、フィルタを手で軽くはたいてください。
- ・ フィルタは水洗いができますので定期的に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後はフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでフィルタをこすってキズをつけないようにしてください。
- ・ フィルタはキズつきやすいので、エアプロワや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

保守・点検について

本機のお手入れ

- 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- 水洗いは絶対にしないでください。
 - 本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保管場所について

- 保管する際は、本機からバッテリを取りはずして保管してください。
次の場所には保管しないでください。
 - ×お子様の手が届いたり、持ち出せたりする所
 - ×直射日光の当たる所
 - ×湿気の多い所

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881D37D8
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 ☎ 446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)